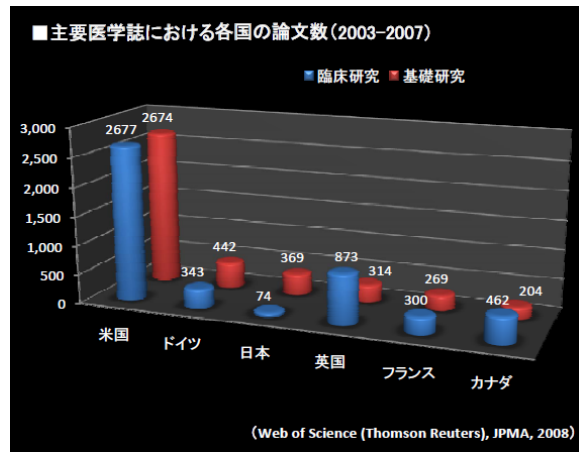
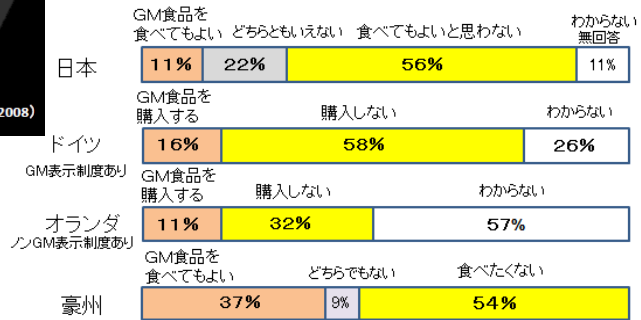


主要医学誌における各国の論文数(2003-2007).
他先進国に比較し日本の臨床医学論文数は少ない.



GMOに対する国民意識の国際比較

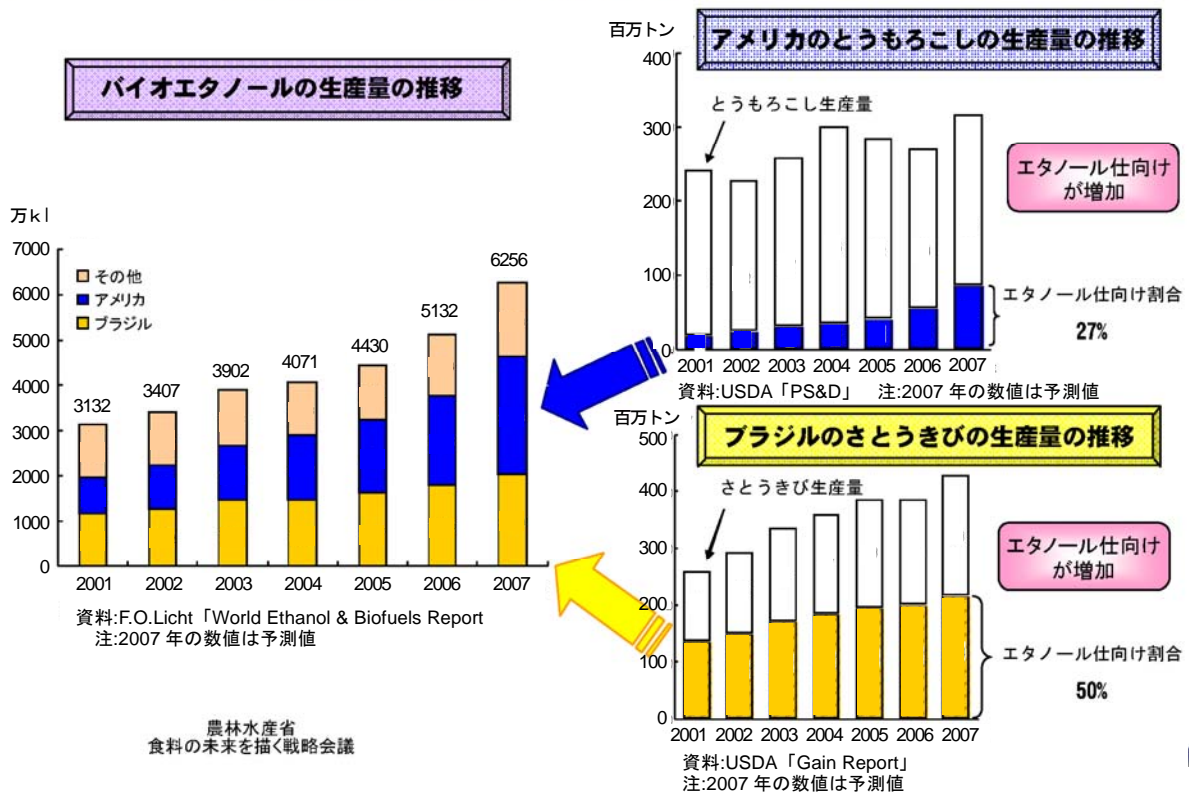
◆個人的受容(acceptability)に関する比較



(出典) 日本: 「JGSSで見る日本人の遺伝子組換え食品に関する態度」(田中, 2005)
ドイツ・オランダ: Do European Consumers Buy GM Foods? (欧州委員会, 2008)
豪州: Trends in Australian community attitudes regarding GM foods (Biotechnology Australia 2006)

バイオ燃料の生産

バイオ燃料の生産が大きく増加し、非食用の穀物需要が増加



IV. 官民が協働で取り組むべき最重点課題

とりわけ取り組みの必要性が高く、官民が協働で取り組むべき課題は、バイオテクノロジーに関する教育や国民理解の促進。

そのため、BT戦略推進官民会議として、「国民理解推進作業部会」を設置し、バイオテクノロジーについての教育や国民理解を促進するとともに、「フォローアップ作業部会」を設け、「ドリーム BT ジャパン」の11項目の着実な実行をフォローアップ。

<BT戦略推進官民会議の開催状況>

第1回会議・平成20年3月17日(月)

・BT戦略推進官民会議における検討項目について

第2回会議・平成20年6月26日(木)

・ドリームBTジャパン中間取りまとめ案について

第3回会議・平成20年12月11日(木)

・ドリームBTジャパン最終案について

<BT戦略推進官民会議メンバー>

【閣僚】

岸田 文雄	科学技術政策担当大臣(第1回、第2回)
野田 聖子	科学技術政策担当大臣(第3回)
渡海 紀三朗	文部科学大臣(第1回、第2回)
塩谷 立	文部科学大臣(第3回)
舩添 要一	厚生労働大臣(第1回～第3回)
若林 正俊	農林水産大臣(第1回、第2回)
石破 茂	農林水産大臣(第3回)
甘利 明	経済産業大臣(第1回、第2回)
二階 俊博	経済産業大臣(第3回)
鴨下 一郎	環境大臣(第1回、第2回)
斉藤 鉄夫	環境大臣(第3回)

【有識者】

青木 初夫	元日本製薬工業協会会長、アステラス製薬(株)相談役
歌田 勝弘	日本バイオ産業人会議世話人代表
大石 道夫	(財)かずさDNA研究所理事長
大島 美恵子	NPO法人 くらしとバイオプラザ21会長
北里 一郎	食品産業中央協議会顧問、(財)バイオインダストリー協会理事長
北野 大	明治大学理工学部教授
小島 信明	三菱商事(株)執行役員 新エネルギー・環境事業本部長
篠崎 一雄	(独)理化学研究所植物科学研究センター センター長
長岡 貞男	一橋大学イノベーション研究センター 教授
中村 道治	経団連産業技術委員会重点化戦略部会長、(株)日立製作所取締役
永山 治	中外製薬(株)代表取締役社長
西島 正弘	国立医薬品食品衛生研究所所長
林 裕造	(財)日本健康・栄養食品協会理事長
平田 正	(社)バイオ産業情報化コンソーシアム副会長、協和発酵工業(株)相談役
古谷 由紀子	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事
堀江 武	(独)農業・食品産業技術総合研究機構理事長
本庶 佑	総合科学技術会議議員
和地 孝	日本医療機器産業連合会会長、テルモ(株)代表取締役会長